

氏名	高橋 綾	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	基礎看護学				
学位	修士(看護学)				
学歴					
経歴					
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本看護学教育学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Effects of occupational status on social adjustment after laryngectomy in patients with laryngeal and hypopharyngeal cancer	共著	あり	European Archives of Oto-Rhino-Laryngology (2019) 276:1439-1446	Kumiko Kotake, Ichiro Kai, Kazuyo Iwanaga, Yoshimi Suzukamo, <u>Aya Takahashi</u>	2019.5
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	The Effect of Continuous Nursing Intervention by a Randomized Controlled Trial on Laryngectomized Patients' QOL	共同	30th International Nursing Research Congress (STTI) Calgary, Alberta, Canada	○Kumiko Kotake, Kazuyo Iwanaga, Yoshimi Suzukamo, Ichiro Kai, <u>Aya Takahashi</u> , Kaori Haba, Yoko Ishibashi, Mami Miyazono, Mami Kurita, Ichiro Ota, Hirokazu Uemura, Tadashi Kitahara, Hiromi Taniguchi, Sakae Matsuoka, Naomi Mine	2019.7	
2	Participation of Laryngectomized Patients in Self-help Groups and Their Motivations for Status Changes	共同	30th International Nursing Research Congress (STTI) Calgary, Alberta, Canada	○Kaori Haba, Kumiko Kotake, Kazuyo Iwanaga, Ichiro Kai, Yoshimi Suzukamo, <u>Aya Takahashi</u> , Yoko Ishibashi, Mami Miyazono, Mami Kurita, Ichiro Ota, Hirokazu Uemura, Tadashi Kitahara, Hiromi Taniguchi, Sakae Matsuoka, Naomi Mine	2019.7	
3	入院期間中に実践される喉頭摘出者の社会的適応を促進する看護援助	共同	第39回日本看護科学学会学術集会(金沢市)	○高橋綾、小竹久実子	2019.12	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	喉頭摘出者の社会生活への適応を促進する看護介入モデルの構築		研究代表者	2019.4~2020.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)	喉頭全摘出者のQOL向上へつなげる看護体制の構築:RCTによる縦断的介入		研究分担者	2019.4~2020.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	該当なし					
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	看護過程論		15	看護過程の理解とその展開技術の習得を目的とし、演習指導を実施した。		
2	看護方法 I (看護の基本技術)		15	看護場面に共通する基本技術の習得を目的として、演習指導を実施した。		
3	看護方法 II (日常生活援助技術)		15	日常生活援助に関する知識と技術の習得を目的とし、演習指導を実施した。		

4	看護方法Ⅲ(診断治療の援助技術)		15	診断・治療過程にある人の理解と基礎的技術の習得を目的とし、演習指導を実施した。
5	看護方法Ⅳ(実践的看護展開)	○	15	対象の状態に応じた看護を実践する力の習得を目的とし、授業計画、講義、演習を実施した。
6	感染管理		7.5	感染管理における看護師の活動の理解を目的とした演習の計画、運営を実施した。
(3)実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	基礎看護学実習Ⅰ		2020.2	1施設を担当し、臨地実習指導、施設および臨地指導者との調整を実施した。
2	基礎看護学実習Ⅱ		2019.10	2クール計2グループを担当し、臨地実習指導を実施した。同実習における実習施設との調整を行った。
3	ヒューマンケア体験実習	○	2019.9	看護学科メイン科目責任者として第1グループを担当し科目運営の一部を担った。
(4)論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業研究		2019.4~2019.12	主指導 4名 副指導 名
2				主指導(指導教員) 名 副指導(指導補助教員) 名
3				主指導(指導教員) 名 副指導(指導補助教員) 名
(5)その他				
	名称		期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	公開講座(専門職講座):臨床家のための看護研究セミナー	埼玉県立大学(研究グループ)		2019.5・7・10・12
2	越谷市立病院看護研究指導	越谷市立病院		2019.6~12
(2)国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	該当なし			
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4)その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等		研究倫理委員	2019.4~2020.3
2	学科等における委員会等		看護学科カリキュラム運営検討会議メンバー	2019.4~2020.3
2	学科等における委員会等		オープンキャンパス:学生相談担当	2019.6
2	学科等における委員会等		進路説明会:埼玉県立上尾高等学校進路説明会担当	2019.11
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			